

## 赤十字奉仕団総会を開催

災害義援金を被災地の復興に役立てて

4月23日、町赤十字奉仕団総会を開催し、揃いのユニフォームを着用した団員に対し、後藤かよ子委員長による赤十字奉仕団信条に沿った積極的な地域活動の呼びかけ、清流の国ぎふ女性防災士会の伊藤三枝子会長を講師とした防災研修を実施しました。

また、団員の協力により集められた「令和6年能登半島地震災害義援金」13,264円と「令和6年9月能登半島大雨災害義援金」9,447円は、日本赤十字社大野町分区および岐阜県支部を通して被災地へ届けられます。



▲総会の様子



## 鮎が泳ぐきれいな川を守りたい

根尾川筋漁協稚鮎放流

5月25日、根尾川上流の本巣市山口にて、根尾川筋漁業協同組合により「いきものをたいせつに」「いつまでもきれいな川に」と願い、稚鮎放流事業が行われました。

みらいろこども園の年長児18人が参加し、鮎の生態や川での安全な遊び方についてクイズ形式で楽しく学び、稚鮎の放流やニジマスのつかみ取りも体験しました。

## 長寿のお祝い

100歳おめでとうございます  
これからも健やかに



きたむら さだ  
北村 貞さん（相羽）

95歳おめでとうございます  
これからも健やかに



うの ちよこ  
宇野 千代子さん（下座倉）



ながや ただし  
長屋 正さん（上秋）

北見市  
ところ通信  
Vol. 317

## 古代遺跡×朗読×民族楽器で聴く『オホーツク街道』 — 遺跡に広がる語りと音色 —

5月23日、トコロチャシ跡遺跡で朗読や音楽を楽しむ催し「古代遺跡×朗読×民族楽器で聴く『オホーツク街道』」が行われました。

催しでは、フリーアナウンサーの山崎ひとみさんが司馬遼太郎さんの紀行文集「街道をゆく 38 オホーツク街道」を巧みな語り口で朗読。

続いて、民族楽器演奏バンド「ルイカ」が登場し、アイヌ伝統リズムをアレンジした楽曲を演奏。弦楽器「トンコリ」などが奏でる温かな音色が会場を包みました。

参加者は、遺跡に響く語りと音色を楽しみながら、歴史と文化に親しみました。

